

# べっふ 市議会だより

2017.2.1

No.133



昨年の消防出初式の様子

## CONTENTS

- P 2 主な議案の概要
- P 3 議決結果
- P 4 議案質疑（温水プールの整備、竹産業）
- P 5 常任委員会審査
- P 6～11 一般質問（15名が市政を問う）
- P12 決算特別委員会、編集後記

# 温泉資源の保護と今後の温泉行政

平成28年第4回定例会は12月7日から20日までの14日間にわたり開催いたしました。

第4回定例会では、多くの議員が「湯ヶ園地構想」や「ブルーラグーン構想」など今後の温泉行政についての質問を行いました。

議員から「別府ONSENアカデミアで発表された『湯ヶ園地』の動画は200万回を超える再生をされ、プロモーションとしては成功しているが、湯ヶ園地構想は今後どのようにしていくのか」などの質疑がなされ、市当局からは、「別府自体が壮大な温泉のテーマパークであるということとをあの動画で表現した。なんらかのああいう世界観を作っていきたいと思っており、将来的にはブルーラグーンの件もあるので、構想などを段階的に示していきたい」との答弁がありました。

ブルーラグーンに関しては、アイスランドのブルーラグーン視察の成果を確認しながら、今後の計画等について質疑がなされました。

市当局から、別府市後期基本計画の個別目標「温泉の保護と活用」の具体的施策として「東洋のブルーラグーン構想」を掲げていることから、実際に現地を訪れ、その成功要因等を確認し、実現への取り組みを開始するために視察を実施したとの説明がなされました。

議員からは、別府市のブルーラグーンの進捗状況や事業計画などについて質問があり、当局からは「現在、事業の計画に必要なデータ等の情報収集を行っている。予定地を含めた全体的な計画についてはこれらの進捗や各方面との協議調整を進めていくなかで決定していく」と答弁がありました。

さらに「ブルーラグーン等のために新規掘削を行うと既存の温泉への影響がでるのではないか」との間に、「ある程度の規模は必要であるが、規模ありきではなく、未利用の温泉を活用することを基本と考えている。周辺環境を悪化させてまで行う事業ではなく、別府市全体の温泉環境の調和を図りながら行いたい。増加傾向にある訪日外国人のニーズにあった癒しや健康、美容などを取り入れた新たな温泉リゾートをイメージしており、民間の事業者やその集合体によって実現可能となる道筋を考えていきたい」との答弁がなされました。

別府市の生命線は温泉です。別府市議会としても、温泉資源の保護と別府市にあった温泉の利活用を見守ってまいります。

(※)ブルーラグーン：アイスランドにある世界最大の人工露天風呂。面積は約5000㎡。

## 主な議案の概要

### ●一般会計補正予算（第7号）

※表中の金額は、1万円未満の額を切り捨てて表示しています

|                          |          |
|--------------------------|----------|
| 臨時福祉給付金給付に要する経費          | 5億9635万円 |
| 国の補正予算に伴い臨時福祉給付金の給付を実施   |          |
| 体育施設整備に要する経費             | 901万円    |
| 温水プールのろ過循環ポンプ外改修工事を実施    |          |
| 災害復旧に要する経費               | 2419万円   |
| 台風16号により被害を受けた農地農業用施設を復旧 |          |
| 災害復旧に要する経費               | 986万円    |
| 熊本・大分地震により被害を受けた公園施設を復旧  |          |

## 第4回定例会における議案の審議結果など

| 議案等番号  | 件名  | 議決結果           |
|--------|---|----------------|
| 議第84号  | 平成27年度別府市一般会計歳入歳出決算の認定について                      | 認定<br>(賛成多数)   |
| 議第85号  | 平成27年度別府市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について              | 認定<br>(全会一致)   |
| 議第86号  | 平成27年度別府市競輪事業特別会計歳入歳出決算の認定について                  |                |
| 議第87号  | 平成27年度別府市公共用地先行取得事業特別会計歳入歳出決算の認定について            |                |
| 議第88号  | 平成27年度別府市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について               |                |
| 議第89号  | 平成27年度別府市地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算の認定について              |                |
| 議第90号  | 平成27年度別府市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について                | 認定<br>(賛成多数)   |
| 議第91号  | 平成27年度別府市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について               | 認定<br>(全会一致)   |
| 議第98号  | 平成28年度別府市一般会計補正予算(第7号)                          | 原案可決<br>(全会一致) |
| 議第99号  | 平成28年度別府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)                  |                |
| 議第100号 | 平成28年度別府市競輪事業特別会計補正予算(第3号)                      |                |
| 議第101号 | 平成28年度別府市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)                   |                |
| 議第102号 | 平成28年度別府市地方卸売市場事業特別会計補正予算(第3号)                  |                |
| 議第103号 | 平成28年度別府市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)                    |                |
| 議第104号 | 別府市役所事務分掌条例の一部改正について                            |                |
| 議第105号 | 特別職の常勤職員の給与及び旅費に関する条例等の一部改正について                 |                |
| 議第106号 | 別府市職員の給与に関する条例及び別府市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について |                |
| 議第107号 | 別府市職員の退職手当に関する条例の一部改正について                       |                |
| 議第108号 | 別府市税条例の一部改正について                                 |                |

| 議案等番号      | 件名   | 議決結果           |
|------------|--|----------------|
| 議第109号     | 別府市立学校の設置及び管理に関する条例等の一部改正について                        | 原案可決<br>(全会一致) |
| 議第110号     | 別府市立学校職員の退職手当に関する条例の一部改正について                         |                |
| 議第111号     | 別府市国民健康保険税条例の一部改正について                                |                |
| 議第112号     | 別府市駐車場の設置及び管理に関する条例及び別府市神楽女駐車場の設置及び管理に関する条例の一部改正について |                |
| 議第113号     | 別府市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について             | 原案可決<br>(賛成多数) |
| 議第114号     | 工事請負契約の締結について  | 原案可決<br>(全会一致) |
| 議第115号     | 旧慣による公有財産についての権利を廃止することについて                          |                |
| 議第116号     | 指定管理者の指定について(温水プールほか2施設)                             |                |
| 議第117号     | 指定管理者の指定について(市民球場ほか2施設)                              |                |
| 議第118号     | 指定管理者の指定について(体育館ほか9施設)                               |                |
| 議第119号     | 指定管理者の指定について(実相寺パークゴルフ場)                             |                |
| 議第120号     | 指定管理者の指定について(弓道場及びアーチェリー場)                           |                |
| 議第121号     | 指定管理者の指定について(別府市宮阿蘇くじゅう国立公園志高湖野営場及び別府市神楽女駐車場)        |                |
| 議第123号     | 指定管理者の指定について(鉄輪地獄地帯公園ドッグラン)                          |                |
| 議員提出議案第12号 | 地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書                               |                |
| 議員提出議案第13号 | 地域防災力の向上と災害に強い防災拠点の整備を求める意見書                         |                |
| 報告第15号     | 市長専決処分について   | 報告             |
|            | 議員派遣の件   | 原案可決<br>(全会一致) |

※議第 98号 平成28年度別府市一般会計補正予算(第7号)については、市当局より一部訂正の申し出があり、訂正後の議案により採決しています。  
 ※議第122号 指定管理者の指定について(地獄蒸し工房 鉄輪分)については、市当局から撤回の申し出があり、議会で承認されました。

### 賛否の分かれた議案

| 議案番号   | 件名                                       | 議決結果   | 会派・議員名 |      |      |      |      |      |      |      |      |        |      |      |      |      |     |      |       |      |      |          |      |     |     |     |
|--------|--|--------|--------|------|------|------|------|------|------|------|------|--------|------|------|------|------|-----|------|-------|------|------|----------|------|-----|-----|-----|
|        |  |        | 自民・創生  |      |      |      |      |      |      |      |      | 新風べっぴん |      |      |      | 公明党  |     |      | 市民クラブ |      |      | 日本共産党議員団 |      |     |     |     |
|        |  |        | 9人     |      |      |      |      |      |      |      |      | 7人     |      |      |      | 4人   |     |      | 3人    |      |      | 2人       |      |     |     |     |
|        |  |        | 江藤彦    | 三ヶ尻友 | 野口哲男 | 松川峰生 | 黒木愛郎 | 国実久夫 | 萩野忠好 | 安部一郎 | 阿部真一 | 首藤正則   | 河野数成 | 山本一成 | 松川三章 | 野上泰輔 | 森大輔 | 小野正明 | 堀本博行  | 市原隆生 | 荒金卓雄 | 穴井宏二     | 加藤信康 | 森山治 | 三重昭 | 平野文 |
| 議第84号  | 平成27年度別府市一般会計歳入歳出決算の認定について               | 認定(多数) | ○      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○    | ○        | ○    | ○   | ○   | ○   |
| 議第90号  | 平成27年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について            | 認定(多数) | ○      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○    | ○        | ○    | ○   | ○   | ○   |
| 議第113号 | 別府市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について | 可決(多数) | ○      | 欠    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○    | ○      | ○    | ○    | ○    | ○    | ○   | ○    | ○     | ○    | ○    | ○        | ○    | ○   | ○   | ○   |

※ 議案賛成者は「○」、反対者は「×」、退席者は「-」、欠席者は「欠」、議長は「/」(採決に加わらない為)  
 ※ 法律により、採決に加われない議案は「除」

## 議案質疑

今定例会議案質疑は、執行部が提出した平成28年度各会計補正予算や条例などの議案に対し、12月12日に4名の議員が質疑を行いました。そのうち主な質疑内容を掲載します。

### 温水プールの整備について

**問** 改修工事の内容は。

**答** このたびの工事では、ろ過循環機ポンプと配管の改修を行います。

温水プールは、年次計画に基づきまして12月1日から3月中旬にかけて、天井や照明の改修、また壁の塗り替えなど大規模な工事を行っており、現在休館となっております。

このたびのろ過循環ポンプ等の工事は、年次計画で来年度行う予定でしたが、2年続けて長期間休館し、利用者の皆様にご迷惑をおかけしないよう、今回の外壁工事にあわせて行うものです。

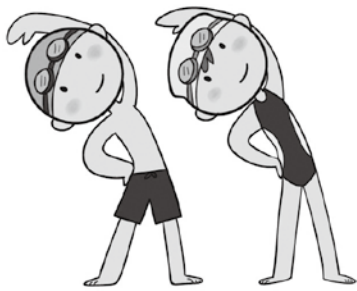


**問** 温水プールは平成6年の12月に竣工しているが、そのときに掲げた「日本一清潔なプールを目指す」との大方針がある。今回、このろ過循環ポンプを改修するということが、定期的に水質検査は行っているのか。

**答** 年4回の水質検査を

行っており、薬剤師にその検査の申しつけについて、さらに調査をしてもらっています。

通常の水質検査はしているということだが、スタートの「このプールは日本一清潔なプールを目指す」というモットーが、今の温水プールの運営やPRには埋もれているのではないかと思う。今回、利用者視点に立ち、既存工事の工期内での施工ということは評価するが、今後、温水プールを運営する上で、「日本一の清潔なプールを目指す」というこのモットーを何とか蘇らせて特色を発揮してもらいたい。



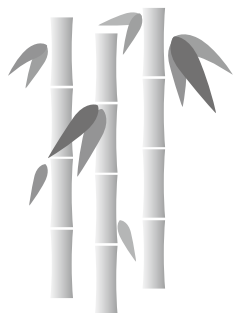
### 竹産業について

**問** 「別府人よ！竹産業に燦爛（さんさん）たる光を浴びせよ」というキャッチフレーズは非常に分かりやすく良い。今、竹産業のイノベーションなどいろいろやっており、これから販路の開拓等も必要だと思うが、いろんな市民の意見を伺いすると、竹産業を支える竹林の整備が問題ではないかと思う。山の口や城島に先般も行ってきたが、荒れている竹林があった。この竹林の整備については、業界とタイアップした中でやるのか伺いたい。

**答** 竹産業を取り巻く状況にはさまざまな課題があるかと思えます。現在、その課題解決に向けて、「竹産業・ものづくりイノベーション・協議会」を立ち上げ、議論を重ねている最中ですが、この協議会の中で、原材料それから部材の調達、さらには製品の生産から販売までの一連の流れが



あるわけですが、この一連の流れの中にある課題を対症療法的ではなく、包括的に解決しようということでお考えの共有を図っております。質問の件は、その他の課題と同様に、この協議会の中で協議・議論され、結論付けられるものと思っております。その結論に向けて具体的な行動は起こしていきたいと考えております。



# 常任委員会審査

本会議での提案者の説明及び質疑が終了した後、さらに詳しく検討するため、常任委員会等に議案審査を付託しています。今定例会では、平成28年度補正予算や条例などの議案に対し審査を行いました。

## 総務企画消防委員会

### 付託された議案

- ・一般会計補正予算（第7号）

・別府市役所事務分掌条例の一部改正について  
ほか10件

## 機構改革

『議第104号 別府市役所事務分掌条例の一部改正について』では、当局より、

1. 別府市総合戦略等を着実に実行

2. 現場の実情を踏まえて、地域の課題を探索し、的確な政策を打ち出す

3. 新たな行政課題の解決「政策市役所」の実現に果敢に取り組み

以上3点の体制づくりを行うための機構改革であ

## 観光建設水道委員会

### 付託された議案

- ・一般会計補正予算（第7号）

・競輪事業特別会計補正予算（第3号）  
ほか8件

## 競輪事業

競輪事業課関係部分では、

『議第100号 平成28年度別府市競輪事業特別会計補正予算（第3号）』及び『議第114号 工事請負契約の締結について』、当局からナイター競輪を開催するに当

り、現行の6部制から8部制とするとの説明がなされ、採決の結果、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決定しました。

たり、照明設備や監視カメラを設置するため、関係借上料を債務負担行為として計上すること、また、別府競輪場選手宿舎管理棟新築外工事に伴い、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定により、議会の議決を求めらるものである旨の説明がなされました。



これに対し委員から、ナイター競輪開催に伴う増収益については、積極的に周辺対策の経費に充てられるよう十分な計画を立てていくべきとの要望がなされ、当局からは、地元の意見を十分くみ取り、対応していきたいとの答弁がなされました。

## 厚生環境教育委員会

### 付託された議案

- ・一般会計補正予算（第7号）

・介護保険事業特別会計補正予算（第2号）  
ほか7件

## 実相寺グラウンドの整備

スポーツ健康課関係では、

実相寺多目的グラウンド整備工事の財源として、地域活性化事業債を予定していたが、国土交通省の社会資本整備総合交付金と日本スポーツ振興センターのスポーツ振興くじ助成金が歳入として確保できたので、起債の減額を含め、財源補正を行うとの説明がなされました。

委員からは、多額の財源を確保できたことは非常に大きな成果であるが、事業費と同時に計上することは

できなかったのかとの質疑があり、当局からは、事業費計上後も他に有利な財源がないか検討していたところ、追加募集があり、補助金等が内定されたので、財源補正をおこなうこととしたとの説明がなされました。これを了としました。

## 体育施設の指定管理

『議第116号から議第120号の指定管理者の指定について』では、各種体育施設の指定管理について、説明がなされました。

委員からは、指定管理業者の応募状況や選定理由などについて質疑がなされましたが、当局から、これまで直営や任意指定であったが、多数の業者が施設に興味を持ち、入札に参加したことで競争の原理が働き、経費の削減ができたとの答弁がなされました。

さらに委員からは、経費だけではなく、サービスの質の向上も指定管理制度の特色であるので、業者への通知・指導の実施について意見がなされました。

# 一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に  
対する方針などを質問するものです。12月議会では15名の議員  
が市当局の見解をいただきました。主な内容は次のとおりです。

## 高齢者の運転支援と シルバーパス制度

公明党  
穴井 宏二 議員



**問** 高齢化は、着実に進行している。と同時に高齢者による交通事故が増加している。別府市の状況はどうか伺いたい。

**答** 別府署管内における65歳以上の運転免許保有者は平成22年度に比べて30パーセント増加しています。また、65歳以上の運転者が第一当事者となった事故件数は、平成22年度130件、平成27年度は148件と増加傾向

です。なお、70歳以上の運転免許返納者は、平成22年度346人、平成27年度437人と大幅に増加している状況です。

**問** 道路交通法改正により75歳以上のドライバーで認知症と診断されれば免許取り消しになると聞いているが、別府市における対象者は、どのくらいいるのか。

**答** 大分県警によると、診断書が必要な方は、県下で500人と推計しており、人口比でいくと別府市では50人程度が対象となると思われま

**問** 今、全国の自治体では免許返納後の支援について様々な支援策がとられている。返納した方にはバス運賃が半額になる制度や佐賀市、広島市の定期券のよう

に1カ月、3カ月、6カ月、12カ月など定額の負担で済む「シルバーパス制度」がある。以前の議会でも提案したが、デマンドタクシー制度などと様々な方法で組み合わせ取り入れたらどうか。

**答** シルバーパス制度は、低額で交通機関を利用できる制度であります。東京都を例にとりますと年間2万円程度、住民税非課税者は年間千円です。これは交通弱者である高齢者の利便が図られるため、高齢者の社会参加や免許返納による交通事故の減少に寄与する制度であると考えられます。システム開発や公共交通体系との関連もあるため調査、研究してまいります。

## 今後の交通政策について 温泉資源を守るために

市民クラブ

加藤 信康 議員



**問** 東山地区のタクシーを活用した実証運行計画とは、具体的にはどうい

**答** 定時定路線の乗合タクシーで、1日4便、週2回の運行で大人一人100円です。地元の方との協議を経て、これまで幅員等の関係でバス路線がなかった枝郷地区でも運行可能なジャンボタクシーを利用することにより、交通不便地域の解消を図ることを目的としています。

**問** 地域公共交通網形成計画の実行にあたって、市として財政支援の基本的考えは。

**答** 地域における公共交通の必要性等を考慮し、財政的な支援が必要な場合には、国等の制度の利用も含めて慎重に検討してまいりたいと思

**問** 温泉の活用や保護のため、源泉の掘削深度、水位、湯量、温度など、今ある資料を基にした温泉資源のデータの整理や今後のデータ蓄積などを行うべき

ではないか。

**答** 今後の温泉資源の保護と適正な利用を行う上で、基本的な温泉データの整理、蓄積は大変重要なことであると認識しています。温泉資源という財産を後世に継承できるよう、基本的なデータの整理、蓄積に努めてまいりたいと考えています。

## 食品ロス削減

自民・創生

松川 峰生 議員



**問** 日本での食品ロスは年間約642万トン。これは我が国で食べられている魚介類の量（約620万トン）とほぼ同じ。飢饉に苦しむ国への食糧援助量（約320万トン）の2倍である。その食品ロスの約半分は、一般家庭から出ている。この食品ロスの減量対策について伺いたい。

**答** 食べ残しから発生するごみの減量対策につきましては、一般家庭へは水切り排出などの啓発を、食事等を提供する業界等につきましても、食品ロスを削減するために、協議を進めて参りたいと思います。

**問** 忘年会・新年会の時期でもあり、市の内部のみならず、市が主体として行う宴会等でも食べ残し対策3010運動(宴会等で開始後30分と終了前10分は席について料理を食べるという運動)について、今後どのように取り組んでいくのか。

**答** ごみ減量化対策として、またCO2削減効果として食品ロスを削減することとは大変重要なことと認識しています。一方で飲食店から発生する生ごみのうち、約6割が食べ残した料理といわれております。特に14.2%は宴会から出る食べ残しであり、3010運動は大きな効果が得られると思いますので、今後啓発して参りたいと考えております。

● 通学地域と自治会再編・健康寿命

新風べっぴん

小野 正明 議員



**問** 小中学校の統合で従来の町内校区が分断されることがないようにして欲しい。地域コミュニティーを考えて、できれば学校の選択制もなくすべきではないか。

**答** 地域と共にある学校づくりのために通学区を設定する方が適切だと考えています。

**問** 自治会が高齢化等で組織の存続ができないといった相談が寄せられている。自治会統合及び分町の手伝いはできないか。

**答** 基本はあくまで住民意思であるので、行政から無理強いにならないようにアプローチに努め、要望に対してはしっかりとフォローしていきます。

ていきたいと思えます。

**問** 別府市の健康寿命は県平均を下回っている。県も健康意識の向上を目指しているが、別府市の取り組みは。

**答** 「みんなで健活 べっぴんを健幸」をスローガンに年一度の検診受診、日頃の減塩や運動の取り組みについて啓発を行い、健康意識の向上に努めています。



**問** 健康寿命の延伸は若い頃からの取り組みが必要ではないか。

**答** 乳幼児、児童生徒、青壮年、高齢者に妊娠期間を加えたライフステージごとに生活習慣改善の取り組みを進めています。個人や地域、関係機関、行政が連携して取り組むことが重要だと考えています。

● 地熱発電・温泉マーク・石綿対策

新風べっぴん

森 大輔 議員



**問** 堀田地域にて計画されていた地熱発電と実証試験については、地域住民の地熱資源に対する深い見識のもと反対した結果、事業者から撤退の連絡がありました。「地域住民の声を尊重する市政」であるべきと指摘すると同時に、地熱開発については慎重に対応していただきたい。

**答** 地熱発電開発については、生活環境の保全に立脚した上で地域との共生を図りたいと考えています。

**問** 2020年の東京五輪・パラリンピックに向け、外国人観光客にも分かりやすいように経済産業省が検討している「温泉マークの変更」について、別府市はどのように考えているか。

**答** 本市としては、親しみがあり文化伝統のある現行の温泉マークを継続使用すべきと考えます。



**問** 他県ではアスベストが使用された建物であるにも関わらず、申告や飛散対策をせず解体工事が行われたケースが報告されている。このような不正工事が起こる背景には、アスベスト除去にかかる多額の費用を工事発注者が負担しなくてはならない点が指摘されている。大分市では、市民の安心安全に繋がる大切な事業としてアスベスト除去等にかかる費用の一部を補助している。別府市も補助事業の創設をすべきではないか。

**答** 今後、大分県及び関係部局と協議を行い補助制度について検討いたします。

市内各所の共同温泉の支援策強化を

新風べっぶ

野上 泰生 議員



**問** 市が進めている「ブルーラグーン構想（東洋一の露天湯）」について温泉資源の保護の観点からどのような配慮をするか。

**答** 温泉資源の保護と適正な利用の観点から、既存の未利用の温泉の有効活用を基本として推進したいと考えています。

**問** 市内に数多くある共同温泉は、別府の温泉文化の象徴と言える。しかしながら、利用者の減少等により経営が難しくなり、閉鎖する事例も多い。一段の支援策が必要と考える。また、市営温泉の入浴料が安いことで、共同温泉の経営を圧迫しているという意見もあるが、市の見解は。

別府温泉の状況と今後について

自民・創生

萩野 忠好 議員



**問** 最近、共同温泉の廃業や入浴客が減ってきて運営

**答** 今後、市と共同温泉の管理者等との意見交換会等の開催を通じて、思いや考え方を整理します。市営温泉の百円入浴は、周辺の共同温泉の経営に影響があると考えています。また、市営温泉は赤字幅も大きく、福祉政策のひとつである高齢者優待券制度などを通じて、多くの税金が投入されているという現状もあります。入浴料金の見直しへの対応は、総合的な見地から判断したいと思えます。いずれにしても市営温泉、市有区営等の共同温泉は本市の温泉文化の特徴なので、共存できるように、仕組みづくりを行っていきたいと考えています。



が厳しいようである。運営が困難なところには補助金の拠出ができないのか。対策を考えていないのか。

**答** 共同温泉については別府八湯温泉道名人会との協働でアンケート調査をしています。共同温泉の状況の分析を行うとともに、共同温泉の管理者等との意見交換会などを開催したいと考えています。

**問** 温泉の泉質（療養泉）の揭示方法が変わり、別府の温泉は10種類中7種類となった。以前あったとされる二酸化炭素泉について調査するといったが、結果はどうなったのか。

**答** 調査の結果、残念ながら二酸化炭素泉の基準値には達していませんでした。

**問** 別府駅前到手湯があるが、熱海駅や由布院駅には足湯がある。私も作る前に足湯を要求したが、温度が低いなど諸条件等で手湯にしたとのことだが、少し改造すれば難しいことではないと思う。JRと話をしぜひ作ってもらいたい。日本一の温泉地別府駅に足湯は必要だ。

**答** JRをはじめ泉源や管理等諸条件について勘案した結果、最終的に現在の手湯としたことで、現在足湯設置は考えていません。



**問** 温泉の効用は健康増進に良いといわれているので、積極的にPRをしてほしい。温泉は身体に大変良い。

**答** 健康増進の一助になっていますが、入浴の仕方によっては悪い面もあり、正しく効果的な入浴が大切です。

す。専門の先生等の協力をいただき発信していきたいと考えています。

ドローンについて

新風べっぶ

松川 章三 議員



**問** 日本全国でドローンの活用が相当な勢いで進んでおり、手のひらサイズの超小型ドローンも登場している。大分県内の自治体でドローンの導入状況はどうなっているのか。

**答** 県内の導入状況は、県では土木建築部が1機購入し、道路崩壊場所の確認等に活用。生活環境部は民間業者に業務委託し、不法投棄の調査等に活用しています。また、白杵市、中津市が各1機ずつ導入しています。豊後大野市消防本部では民間企業と運用について協定を結んでいます。





**問** 6月議会で質問した折、市長は「観光面や危機管理の場面において大変有効な手段の一つである。関係部署と相談して、ぜひ前向きに検討したい」と答弁したが、進捗状況はどうなっているのか。

**答** すでに導入し活用している県や他自治体に導入方法・費用・効果などの聞き取り調査を実施した状況であります。

**問** 私は6カ月前にこの質問をしている。いつ頃からどのような協議を始めたのか。

**答** 観光や危機管理の各部署と協議をしています。民間事業者からかなりの提案もあり、来年度予算の中で民間との連携や、購入も含めて協議をしていきたいと考えています。

● 未来の別府は、子育て支援の充実から

日本共産党議員団

竹内 善浩 議員



**問** 子ども医療費の助成制度を拡大・充実する考えはないか。

**答** 全国市長会から国に対して、特別提言を出しています。助成制度の拡充には、別府市単独の財源が必要のため、国や県に子ども医療費の無償化や助成制度の充実を、引き続き要望してまいります。

**問** 実際に希望する保育所に入所できていないと相談を受けているが、認可保育所間で保育に偏りはないか。

**答** 子ども・子育て新支援制度に基づき、保育の質的改善を図っています。各園との意見交換会や各種研修、また、各園でのOJT

(職場研修)などを通じて、連携を取りながら、保育の質の向上に取り組んでいます。



**問** 他市同様、別府市でも放課後クラブの保護者負担金減免事業をしないのか。

**答** 現在、関係課と協議を重ねて、検討しております。

**問** 就学援助の入学準備金の3月支給はできないか。

**答** 他市の状況を調べ、保護者などの意見を伺いながら、支給時期を検討してまいります。

**問** 別府市高等学校奨学金の人数を増やせないか。

**答** 別府市としても関係課と協議してまいります。

● 「湯〜園地」構想

公明党

市原 隆生 議員



**問** プロモーションビデオをインターネットで公開し、再生回数が100万回を超えたらこの構想を実現するという市長の公約は大変な反響を呼んでいる。大分県内だけでなく、全国版の様々な報道番組でも取り上げられ、一様に「大丈夫か？」など、心配をしている様子から、さらに注目されるのか、配信開始よりわずか3日で100万回を超えてしまった。また、ユーチューブでも、この動画に対する感想や、意見をまとめた動画も配信されており、反響は国内に留まらず、世界的に広まっているようだ。これらの中にはもちろん手厳しい批判的なコメントもあるが、茶化しているものだけでなく、見る側の真剣な思いの伝わる

意見も数多い。しかし何より、このような動画を作成した市長に対する、何かやってくれそうな期待をしている声や圧倒的に多いと感じている。行政のお金は使わないとのこと、どのようなものになるのかは今の答えはできないだろうが、「この程度か」と期待を裏切らないようにやってみてほしい。

**答** 100万回達成の速さに驚いています。様々なご意見のあることは承知していますが、皆様の期待を決して裏切らないものにしたと決意しています。

● 各分団の訓練・設備の体制について

自民・創生

阿部 真一 議員



**問** 地域防災の中核として消防団は日々活動している。火災時に迅速かつ的確な消火活動を実行するためにも各分団とも放水訓練・操法



指摘した。その後の孤独死の状況はどうか。

**答** 別府警察署管内での平成26年度の変死は178人、うち65歳以上が63人、平成27年度の変死は163人、うち65歳以上は55人であり、ます。

**問** この孤独死をなくすために、安否確認ができる緊急通報システムの導入を求めてきたがどうなったか。

**答** 現在、安否確認可能なシステムを導入する準備をしています。具体的には、利用者が毎朝ボタンを押す機種や、携帯型端末を活用して決まった時間に利用しなかつた場合に通報される機種等の導入を考えています。



**問** 平成27年9月議会での市営納骨堂の質問に対して、市は「来年度の実施計画に盛り込みたい」と答弁していたが、未だに実現していない。どうなっているのか。

**答** 来年度の建設は厳しいが、市営納骨堂は必要であり今後も協議検討してまいります。

●競輪事業、ワンコインバス事業

新風べっぶ

河野 数則 議員



**問** 機構改革で競輪事業課が公営競技事務所と変わるが、具体的な変更の意図や目的について伺いたい。

**答** 競輪事業の営業力強化のため、現場での権限強化を図ります。具体的には所長を開催執務委員長に想定しています。

**問** 名称変更のみで中身が伴わなくては意味が無く、内部改革や収益増への努力、経費削減等の施策やナイター競輪実施について伺いたい。

**答** 指摘のとおり、収益

増加や経費削減、ナイター競輪実施による新規客の開拓や内部改革についてしっかり進めていきたいと思っております。

**問** ワンコインバス事業について、高齢者移動手段確保を目的として予算が計上されているが、現在は東山地区に限定されている。今後、実施準備や調査に時間をかけて、市内各地に点在する交通の不便な山間地域の実情に合った手段を普及させることが望ましいと考えるが、どのように思うか。

**答** 今後、調査や研究を行い、市内の山間地域について検討していきたいと思っております。



平成29年 第1回定例会(予定)

2月28日 議案上程

3月2日 議案質疑、委員会付託

6日 委員会審査

9日 各委員長報告、討論、表決

13~15日

予算特別委員会

16、17、21日

一般質問

24日

予算特別委員会、委員長報告、討論、表決

※日程は変更することがあります。

※第1回定例会の請願の受理期限は2月17日(金)17時までです。

●政務活動費について

現在、収支報告書をホームページに掲載していますが、領収書まで含めた報告書(平成28年度分から)を平成29年12月末までにホームページで公開することが決定しました。

別府市議会政策研究会を設置

本市議会では、平成28年4月1日から別府市議会基本条例を施行し、同条例第14条に基づき、別府市議会政策研究会を設置しました。

この研究会の目的は、政策的条例案の策定に関すること及び市長に対する政策提言に関することとなっており、12月13日に初めての役員会議を開催しました。

会議の中では、今後提案型の市議会を目指して行くためにも、他の自治体の活動状況等を調査すると共に、多角的に協議を重ねて行くことを確認しました。

# 決算特別委員会

平成27年度別府市一般会計及び特別会計の決算審査を行いました。

市当局からの説明の後、質疑を行い、それに基づいて議員間で自由討論を実施し、委員会としての意見書をまとめました。12月議会の議決後意見書を市へ提出しました。

《意見書の概要（一部抜粋）》

## 1 事業評価について

様々な観点から事業の評価を行い、必要な改善を速やかに加えることを求める。

## 2 各種団体等への補助金制度について

平成26年 決算特別委員会において附帯決議がなされたが、今年の決算審議において確認を行った結果、一部対応されたことが確認できたものの、各課への浸透等が不十分であったことが判明した。従って、下記2点への対応を改めて求める。

1. 改正された規則の周知と規則に沿った運用の徹底を図ること。
2. 第三者などによる評価の導入を検討すること。

## 3 観光関連情報について

別府市の主要産業である観光産業の振興において、別府来訪の動機づけにつながる質の高い情報の発信は重要である。よって、情報発信の中核を担う観光関連の公式ホームページにおいては、十分に改良や運用ができる予算の確保を行うとともに、事業の企画・執行については、現場を支えている関係諸団体等との連携を重視の上、実施することを求める。

※詳細は、別府市議会ホームページをご覧ください。 <http://www.city.beppu.oita.jp/gikai/07iinkai/tokubetu/kessan.html>



(質疑の様子)



(自由討論の様子)



### 編集後記

市民のみなさまには、市議会活動におきまして、日頃より深いご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。重ねて心より感謝申し上げます。

新人議員として初めての編集後記を書かせていただきます。いろいろな体験や経験を通し、2度目の決算特別委員会、並びに第4回市議会定例会が閉会いたしました。いま議会は、春に制定されました、別府市議会基本条例を基軸とし、変わりつつあります。

決算特別委員会におきましては、新たに委員間での自由討論を行い、6項目につきまして、審査意見が提出されました。

この議員相互間の討議による合意形成は、議会運営を円滑に進め、また、市政運営でも、執行部と市議会がより良き両輪の輪となり、市民のみなさまが望む、この別府市を営み育むおおきな力となることと感じております。

この春の地震災害を優しく抱き寄せ、寄り添いながら、別府市は穏やかに新たな年を迎えました。新たな歳（都市）の始まりです。

この「べっぶ市議会だより」を通して、市民のみなさまと別府市政との距離が近くなり、双方の顔の見える関係となりますよう、また、市民のみなさまにより一層必要とされる議会となりますよう、日々精進して参ります。

これからも引き続き、議会活動にご指導ご鞭撻賜りますよう、お願い申し上げます。

また、市民のみなさまにおきましては、時節柄ご自愛なされますよう、こころよりお祈り申し上げます。

広報広聴委員会委員

竹内善浩